

## 第18回ゴールドコンサート決勝大会の出場者が決定

NPO 法人日本バリアフリー協会（代表理事：貝谷 嘉洋、所在地：東京都千代田区、以下日本バリアフリー協会）は、2021年11月6日（土）に東京国際フォーラム ホールC（最大1,502席）で開催する第18回ゴールドコンサート決勝大会の出場者、特別ゲストなど、開催・運営に関する体制を決定しました。

ゴールドコンサートは、障がい者に音楽やダンスで表現する機会を提供し、競い合う中でその技術・表現力を高めてもらうことにより、障がい者の能力や可能性の高さを広く知らしめる国際的な舞台芸術コンクールです。

国内および海外から選抜された約10組のパフォーマーが、東京国際フォーラム ホールC（最大1502席）で、音楽やダンスを披露しグランプリを目指します。審査員長には湯川れい子氏をお迎えし、20年に渡る活動の中でメジャーデビューを実現するなど、プロを複数輩出してきました。

18回目となる本年は、応募総数は予選大会と音源・映像応募と合せて92組の中から9組が選抜されました。尚、海外からは最大で2組が出場予定です。詳細につきましては、別紙をご参照ください。

日本バリアフリー協会では、ゴールドコンサートなど音楽を通して障がい者の自立と社会進出の拡大をめざしてまいります。

前回(第17回ゴールドコンサート決勝大会)の様子



第17回ゴールドコンサートグランプリ

JAHLI



湯川れい子審査員長



表彰式の様子

➤ 第18回ゴールドコンサート決勝大会の概要

日程：2021年11月6日(土) 15:30開演(14:30開場)

会場：東京国際フォーラム ホールC(東京都千代田区丸の内3-5-1)

実行委員長：貝谷 嘉洋(プロフィールは別紙2を参照)

審査員長：湯川 れい子(プロフィールは別紙2を参照)

副審査員長：吉岡 正晴(音楽評論家)

審査員：阿部 恒世(WaWaWa 元編集長)、工藤 由美(音楽ジャーナリスト)、小久保 隆(環境音楽家)、白岩 英也(みちのくレコード、みちのく歌謡文化連盟 会長)、谷川 公子(音楽家、ピアニスト、作・編曲プロデューサー)、萩原 岳(ナレーター、宣伝販売促進コンサルタント)、花村 ひろ子(有限会社エフ・エム・ジー 会長)

特別審査員：宮川 彬良(作曲家・舞台音楽家)

ウェブサイト：<https://gc.npojba.org/>

公式 Twitter アカウント：@Gold\_Concert

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/goldconcert>

Instagram アカウント：@npojba\_official

➤ 出場者・特別ゲスト・ゲスト

出場者：予選大会、音源・映像審査を通過した9組、海外からは最大で2組が出場予定(別紙1を参照)

特別ゲスト：vivid undress

ゲスト：JAHLI(第17回ゴールドコンサートグランプリ) ※予定

➤ 後援、協賛・協力(前回実績・予定)

後援：厚生労働省、文部科学省、東京都、千代田区、社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団、社会福祉法人視覚障害者支援総合センター、全国自立生活センター協議会、全国特別支援教育推進連盟、社会福祉法人鉄道身障者福祉協会、一般社団法人日本筋ジストロフィー協会、公益社団法人日本フィランソロピー協会

協賛：有限会社エフ・エム・ジー、公益財団法人オリックス宮内財団、関西学院大学、キッコーマン株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、国際ソロプチミスト川崎、コニカミノルタジャパン株式会社、株式会社コヤマドライビングスクール、第一生命保険株式会社、大同生命社会貢献の会、東京西ロータリークラブ、日本信号株式会社、ノーベルファーマ株式会社、パイオニア株式会社、株式会社フォーシーズ、有限会社フジオート FUJICON、株式会社まぐまぐ、三菱商事株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、株式会社森技報堂、株式会社モンベル、株式会社リッツメディカル、医療法人和楽会(50音順)

協力：株式会社エイチ・アイ・エス ユニバーサルツーリズムデスク、江南障害者福祉館 Active Art、関西学院大学同窓会東京支部、クレセント経営研究所、NPO 法人サポートセンターケントミ、渋谷ズンチャカ!、一般社団法人障がい者自立推進機構パラリンアート運営事務局、スポーツニッポン新聞社、NPO 法人 とっておきの音楽祭、富沢印刷株式会社、公益財団法人日本ケアフィット 共育機構、NPO 法人日本バリアフリー政策研究所、パンローリング株式会社、株式会社フジテレビジョン、株式会社ブラザーフード・アンド・カンパニー、株



株式会社0段差、株式会社メディカルフォーラム、めびうすのWA、六本木ふるめん(50音順)

ポスター制作：ノースサイン合同会社

補助事業：公益財団法人JKA

#### ▶ ゴールドコンサートの特徴

- ・ 障がい者が主体

主催の NPO 法人日本バリアフリー協会の代表理事、貝谷嘉洋は重度の筋ジストロフィーであるのをはじめ、障がいをもつ当事者が主体となり運営しています。

- ・ 国際大会

全世界の障がいをもつミュージシャンに出場資格があります。毎年、韓国で行われる障がい者の音楽コンテストの選抜者やアジア諸国をはじめ各国から出場しています。

- ・ 合理的配慮

手話通訳、パソコン文字通訳、車いす席の多数設置など必要な配慮を行っています。

- ・ メディアへの掲載・放送多数

ほぼ毎回、大手新聞、主要テレビ局にとりあげていただいています。

#### ▶ 日本バリアフリー協会について

NPO 法人日本バリアフリー協会は 2000 年 4 月に設立された、音楽を通して障がい者の自立と社会進出の 拡大をめざす活動を行う特定非営利活動法人です。ゴールドコンサートの企画運営など障がい者の音楽支援を展開しています。また、日本初の障がい者が主催するエンターテインメント事業、GC グランドフェスティバルも開催しています。

#### お問い合わせ

報道関係のみなさま

広報担当：後藤/高橋 TEL：03-5215-1485 FAX：03-5215-1735 mailto：pr@npjba.org

一般のみなさま

ゴールドコンサート事務局 TEL：03-5215-1485 FAX：03-5215-1735

本プレスリリースの URL

<https://gc.npojba.org/press-20210709>

(別紙 1、敬称略)

## 出場者

出場者名	曲名・作品名	障がいの種類	地域
エスペラント	パズル	精神	大阪
香介 BAND	Another Star	視覚	東京
直駿 (NAOKI)	ディリュージョン	発達	佐賀
信田 彩	ビリー・ジーン	聴覚	神奈川
paraphrase	だいじょうぶ？！	視覚、精神	沖縄
Megto	灯火	聴覚	東京
若渚	ひだまりの香り	視覚	愛知
広島車いすダンスくらぶ (チーム C) ※	オペラ座の怪人	肢体	広島
北川 知彦 ※	最愛	内部	神奈川

海外からは最大 2 組が出場予定。

※の 2 組は特別出場となります。

(別紙 2、敬称略)

## 主催関係者について

### 湯川 れい子(審査員長) について

音楽評論家・作詞家

昭和 35 年、ジャズ専門誌『スウィング・ジャーナル』への投稿が認められ、ジャズ評論家としてデビュー。その後、17 年間に渡って続いた『全米 TOP40』(旧ラジオ関東・現ラジオ日本)を始めとするラジオのDJ、また、早くからエルヴィス・プレスリーやビートルズを日本に広めるなど、独自の視点によるポップスの評論・解説を手がけ、世に国内外の音楽シーンを紹介し続け、今に至る。作詞家としては、代表的なヒット曲に『涙の太陽』、『ランナウェイ』、『ハリケーン』、『センチメンタル・ジャーニー』、『ロング・バージョン』、『六本木心中』、『あゝ無情』、『恋におちて』などがあり、ディズニー映画「美女と野獣」「アラジン」「ポカホンタス」「ターザン」などの日本語詞も手がけている。著書には「エルヴィスがすべて」(ブロンズ社)、「湯川れい子の幸福へのパラダイム」(海竜社)、「幸福への共時性(シンクロシティ)―もっと豊かにもっと健康に生きるための 26 章」(海竜社)、「幸福への旅立ち(マハーサマーディ)―人生を完璧なものにするための 20 章」(海竜社)、「湯川れい子の今夜もひとりかい」(共同通信社)等があり、2004 年 10 月には、聖路加国際病院名誉院長・理事長の日野原重明氏と共に、音楽が持つ根源的な力を医学、精神、芸術等様々な角度から分析し、分かりやすく解いた初の対論集『音楽力』(海竜社)が発売されている。2016 年 1 月に 80 歳を迎え、音楽評論 55 年・作詞家 50 年を記念し史上初！コンピレーション CD「音楽を愛して、音楽に愛されて」洋楽セレクション(発売:ユニバーサルミュージック合同会社)・邦楽作詞コレクション(発売:ビクターエンタテインメント)2タイトルが発売された。また同タイトルで音楽との軌跡をたどる1冊として、Special Issue 湯川れい子 80th 記念ムック本が、ぴあより発売された。

### 貝谷 嘉洋(実行委員長、制作・総指揮)について

NPO 法人日本バリアフリー協会 代表理事

1970 年岐阜県生まれ。10 歳の時に筋ジストロフィーと診断され、14 歳で自立歩行不能となる。93 年関西学院大学卒業後アメリカに単身渡る。99 年カリフォルニア大学バークレイ校ゴールドマン政策大学院修了。2000 年にジョイスティック車によるアメリカ 1 周を敢行した後に帰国し、同車で初の新規運転免許取得。同年、日本バリアフリー政策研究所を設立(翌年、東京都から NPO 法人として認可)。05 年上智大学博士後期課程修了。08 年 NPO 法人日本バリアフリー協会設立。以後、現在まで代表理事を務める。障がい者の音楽コンテスト「ゴールドコンサート」を主催しながら、執筆活動、講演などを行っている。

NHK 厚生文化事業団障害福祉賞 専門委員

東京大学大学院教育学研究科バリアフリー教育研究開発センター 協力研究員